



図書館だより



2025. 3 伊丹市立東中学校 図書館

3年生のみなさんへ

《卒業に関連するおすすめの本》



・今日、あなたは空を見上げましたか。
空は遠かったですか、近かったですか。

・「ありがとう」という言葉を、今日、あなたは口にしましたか。
・何歳のときのじぶんが好きですか。

上手に歳をとることができるとおもいますか。

・これだけはしないと、心に決めていることがありますか。

・いちばんしたいことは何ですか。
人生の材料は何だとおもいますか。

『最初の質問』講談社より抜粋
詩：永田弘
絵：いせひでこ

自分が大切にしていることは何ですか？大切な人にはきちんと言葉で気持ちを伝えていますか？

3年生のみなさん、もうすぐ東中学校を卒業ですね。これからもみなさんが夢に向かって充実した毎日をご過ごせることを願っています！

《開館案内》

開館日時：昼休み

※春休み貸し出しはありません。
借りている本を全て返却してください。

『卒業するわたしたち』

加藤 千恵 小学館

吹奏楽部の1年後輩の男子に密かに思いを寄せる先輩女子が、告白できずに卒業していく「流れる川」のほか、様々な卒業模様を描きとった全13話の短編集。『きらら』『本とも』掲載に書きおろしを加えて単行本化。

『少女は卒業しない』

朝井 リョウ 集英社

廃校が決まった地方の高校での最後の卒業式。この「さよなら」は、きっと世界の扉をひらく。恋愛、友情、将来の夢、後悔、成長、希望など、青春のすべてを詰め込んだ連作短編集。『小説すばる』掲載を単行本化。

『永遠の出口』

森 絵都 集英社

悩んだり、迷ったり…。それでも少女は大人への入り口に近づいていく。「カラフル」の著者が描く、きらきら素敵な大人への物語。十代の思い出がいっぱい。『小説すばる』掲載の作品をまとめる。

『独立記念日』

原田 マハ PHP 研究所

恋愛や結婚、進路やキャリア、挫折や別れ、病気や大切な人の喪失…。寄り道したり、つまずいたりしながらも、独立していく女性たちの姿を鮮やかに描いた、24の心温まる短篇を収録。

『14歳からの哲学 考えるための教科書』

池田 晶子 トランスビュー

今の学校教育に欠けている14歳からの「考える」のための教科書。「言葉」「自分とは誰か」「死」「家族」「社会」「理想と現実」「恋愛と性」「メディアと書物」「人生」等30のテーマで考えるきっかけを与える。

『最初の質問』

長田 弘／詩 講談社

今日、あなたは空を見上げましたか。空は遠かったですか、近かったですか。詩人・長田弘の代表作のひとつに、画家・絵本作家のいせひでこの美しい絵をつけた絵本。繰り返される問いかけが深い思索へと誘う。



内容紹介：ことばv蔵 HP より
※紹介した本は全て図書室で借りられます。